

社会福祉法人 岩手県社会福祉事業団  
令和7年度 共同生活事業所「八幡平」地域連携推進会議【議事録】

I 開催日時 令和7年12月3日(水)13:30~16:00

II 開催場所 大更コミュニティーセンター中会議室

III 出席者

所属	職名
八幡平市地域福祉課 障がい福祉係	係長
岩手町福祉介護課 福祉支援係	係長
社会福祉法人 八幡平社会福祉協議会	専門員
特定非営利活動法人まつぼっくり	事務局長
利用者	
利用者家族	

IV 議事等

1 開会(進行:共同生活事業所「八幡平」所長)

2 挨拶(岩手県社会福祉事業団 事務局次長)

3 出席委員・職員の紹介(自己紹介)

4 議事

【主な意見】

・リスクマネジメントについて、菓のミスがあったということだが、命に係わるケースもあるのできちんと対応していただきたい。

・利用料について説明があったが、預かり金について、保険証や受給者証の管理も費用が発生するのか伺いたい。

→ご本人やご家族等から預かって欲しいという話を受け、管理契約・同意書を取り交わして確認してから管理するが、通帳を預けるか否かによって、管理料が異なるのみで保険証が増えたからといって、料金が加算されるようなものではない。

・新しい食事提供方法については、利用者さんの反応はいかがか。

→量が少ないという意見がある一方、カロリー計算されたメニューというメリットもある。利用者さんの最高齢は79歳、若い方は44歳、活動内容も毎日仕事をしている方もいれば、生活介護中心という方もいて、1日のカロリー摂取量は異なってくる。その辺りのバランスが難しい。

そのため、余暇活動や休日に外食や間食をしたりするが、満足度をどのように上げるかが課題となる。

→直近起こったアクシデントとして、利用者さんが単身で買い物に出かけたが、いつもと違う場所を歩いているうちに、道がわからなくなって疲れ、最後はお店の方に助けをいただき、警察につながったという事案があった。体力・認知機能の低下とともに、このようなケースが増えると思っている。

八幡平市や岩手町にも相談しており、今後、対策を講じていく。

→ホームの一部は昭和に建てられた2階建ての建物で、年々高齢になるにつれて生活しづら

くなっている。板間の寒さ対策や地震等、安全性や生活の快適度から心配な部分がある。利用者にもご不便をおかけしているが、グループホームに適した物件、マッチングできるものがなく、ハードルがあると感じている。

・2階建ての物件があるということだが、住宅の手すりや段差の状況等、配慮はいかがか。→賃借の場合、大家さんが段差の解消を承諾してくれるか確認する。こちらの思いだけでどうもならない場合もあり、難しい。

・今回参加させていただき、グループホームの様子が少しわかった、見えてきたと感じた。

・意外と高齢の方が多というのが実感である。利用者さんの認知症が進んだり、足腰が弱ったらどうするんだろうなという心配はある。前より仕事がちょっと辛い、という利用者もいるので、そういった心配事があるのだろうと思った。

・利用者の中でも高齢な自分の親族を支援してもらっている。認知の問題等、次の段階へのサポートもさせていただいており、家族として本当に助かっている。

## ■ ホーム見学の様況

日時	令和7年12月3日(木) 16:00～ ※会議終了後
参加者	5人
場所	共同生活事業所「八幡平」 川村ホーム、七時雨ホーム
参加者からの主なコメント	<p>■ 川村ホームについて</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・使用していない部屋を見せてもらったが、昭和の感じがある。一人で生活するには私物を入れてもちょうど良い。</li><li>・クックチルの味はどのようなものか。⇒量は多くはない。品数は副菜が2食以上つくため少ないとは感じない。湯煎調理のため提供できない刺身、焼き魚、焼き肉のようなメニューがないのは、利用者にとっても寂しさはあると思う。</li></ul> <p>■ 七時雨ホームについて</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・外観はオシャレで、玄関ホールも広い。</li><li>・リビング、廊下の床の張り替えがされておりきれい。見学した1室も床の張り替えが行われていた。部屋もきれいに整理されており生活しやすい。</li><li>・トイレが1か所しかないのは生活する方にとっては不都合なことがあるのではないか。</li></ul>

## ■ その他の意見

・今回は会議後にホームの見学を行ったが、次回は先にホームの見学を行い、その後に会議を開催した方がイメージを持ってざっくばらんに話し合えるのではないか。